

東日本ユニオン TOKYO

JR東日本労働組合東京地方本部

発行責任者 郷 重雄



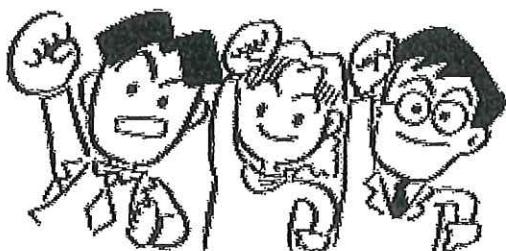
発 行 教宣部

2021年3月2日 NO141

3. 1 第一回団体交渉開催

要求満額獲得の為に組合側より趣旨説明を行う！

- 今ある鉄道業務及び「安全・安定輸送」は、JR労働者 個々の知識や経験の積み重ねと技能の向上によって確保されていると言える。定期昇給の実施と4係数の実施を強く求める。
- コロナ禍、赤字下においてJR労働者は、奮闘している。中長期的な経営を見通し経営環境の変化、生産性向上への貢献、生活環境の変革及び物価上昇を踏まえた生活保障、年齢に応じた生計費の水準を考慮要素として、「社員一律」による3000円のベースアップとエルダー社員の基本賃金を「一律」3000円の引き上げを求める。
- 「第二基本給」は、若い社員ほど退職時の算定額への影響が大きくなるなど、あまりにも理不尽な制度である。導入目的や制度の趣旨を見たときに「使命は終えた」と言える。「第二基本給」の廃止を求める。
- コロナ禍、赤字下におけるJR労働者の奮闘に対して優劣はない。2021年度の賃金改定において一部社員への特別加算を実施せずその原資を1円でも多く、すべての社員に配分すべきだ！



最後まであきらめずに 要求満額を勝ちとろう！

東京地本ホームページにおいて皆さん

意見・声を募集しています。

ぜひ ホームページの確認を！

